

会社の概要

(2019年3月31日現在)

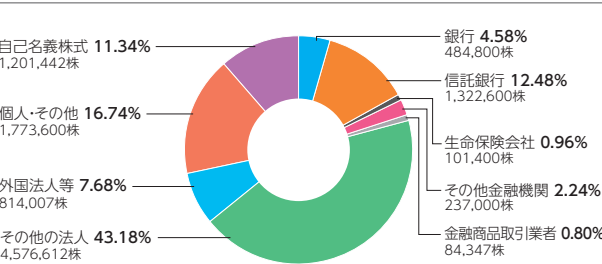
会社概要		
商号	株式会社学研ホールディングス (英文表示 GAKKEN HOLDINGS CO.,LTD.)	
設立	1947年3月31日	
資本金	18,357,023,638円 〒141-8510	
本店所在地	東京都品川区西五反田二丁目11番8号 TEL. 03-6431-1001(代表)	
ホームページURL	https://ghd.gakken.co.jp/	

取締役・監査役・執行役員

地 位	氏 名	地 位	氏 名
代表取締役社長	宮原 博昭	常 勤 監 査 役	景山 美昭
専 務 取 締 役	木村 路則	常 勤 監 査 役	増山 敬祐
専 務 取 締 役	中森 知	社 外 監 査 役	山田 敏章
取 締 役	古岡 秀樹	社 外 監 査 役	長 英一郎
取 締 役	碓 秀行	上席執行役員	中村 雅夫
取 締 役	小早川 仁	執 行 役 員	織田 信雄
取 締 役	福住 一彦	執 行 役 員	安達 快伸
社 外 取 締 役	山田 徳昭	執 行 役 員	影山 博之
社 外 取 締 役	城戸真亜子	執 行 役 員	小林 徹
		執 行 役 員	田中 薫
		執 行 役 員	勝野 哲也

株式の状況	
発行可能株式総数	39,916,400株
発行済株式の総数	10,595,808株
株 主 数	6,758名

所有者別株式分布状況



Gakken 学研ホールディングス

株主メモ	
事業年度	毎年10月1日～翌年9月30日
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 期末配当金 毎年9月30日 中間配当金 毎年3月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 https://ghd.gakken.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同所在地	東京都府中市日鋼町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵送先	

株式についてのお問い合わせ：三菱UFJ信託銀行 証券代行部

0120-232-711
オペレータ対応 受付時間 平日のみ／午前9:00～午後5:00

表紙の図画

私たち学研グループは、「全国児童才能開発コンテスト」を通じて、子どもたちの才能開発を応援しております。

全国児童才能開発コンテスト

<http://sainou.or.jp/contest/index.php>

昭和38年に制定され、以来毎年行われている顕彰事業です。全国児童の「豊かな感性・情操」を養うとともに、児童の基礎学力である「文章による表現・コミュニケーション能力」「創造的な表現力」「科学的な思考力」を育て、小学生の文化的・科学的才能の育成を目指しております。



第55回全国児童才能開発コンテスト 図画部門 低学年の部 文部科学大臣賞 作品
【題名】いちごだらけ 山梨県甲府市 山城小学校 1年 宮沢香苗さん

株式会社学研ホールディングス

株主通信
Gakken Value Report

第74期
中間報告書
2018年10月1日～2019年3月31日





代表取締役社長

宮原博昭



株主の皆様へ

Creative Challenge

グループ理念

私たち学研グループは
すべての人が心ゆたかに生きることを願い
今日の感動・満足・安心と
明日への夢・希望を提供します

グループビジョン

ずっと、いっしょに“まなび”をたのしく！
ワクワク☆ドキドキ創造企業

Gakken Spirit

- 知る** 広い視野で未来を見据え、深く市場と顧客の心を知ろう
- 挑む** 高い目標を掲げ、強固な意志を持って、迅速に挑戦しよう
- 創る** 自由かつ斬新な発想で、新しい価値を創り出そう

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当社第74期中間報告書(2018年10月1日～2019年3月31日)をお届けいたします。

当第2四半期累計期間のグループ業績は、売上面では教育サービス、教育コンテンツ、教育ソリューションの3セグメントで減収となりましたが、当連結会計年度よりメディカル・ケア・サービス株式会社が連結業績に加わったこともあり、医療福祉サービスセグメントでは、大幅な増収となりました。

利益面では、グループ全体で営業利益、親会社株主に帰属する純利益とも、増益となりました。

当期は、「次代を拓くグループ力の結集」をスローガンとした2か年計画「Gakken2020」の1年目にあたります。

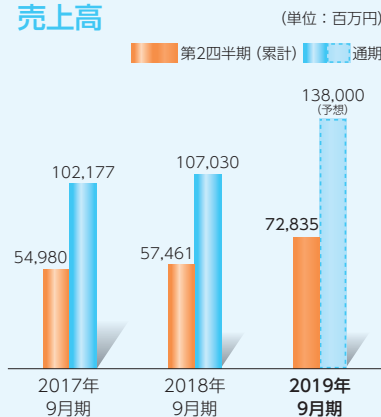
“教育分野と医療福祉分野の「2つの成長エンジン」で次代を拓く”を経営方針とし、経営基盤の強化や資本効率の向上と株主還元に努め、持続的成長による企業価値向上を推進しております。

なお、当期も前年度に引き続き、1株当たり35円の間配当を実施いたします。今後も安定的、持続的な配当を目標としてまいります。

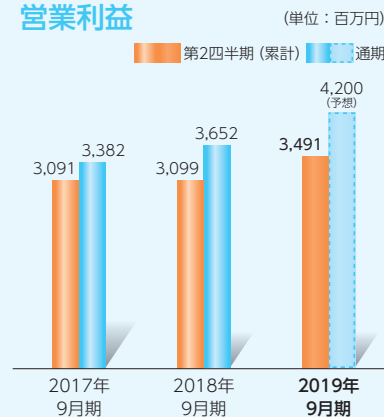
株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

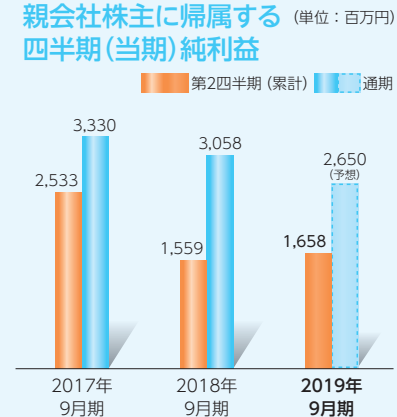
売上高



営業利益

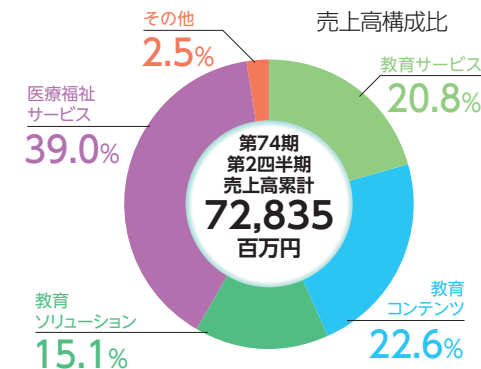


親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



※予想は2019年5月10日時点のものです。

セグメント情報



教育サービス

東大理科Ⅲ類7名合格
首席合格者も

大阪と兵庫で3校舎を展開する高等進学塾は、抜群の超難関大学合格者を誇っています。この春も、現役で東大に37名が合格。そのうち日本で最も狭き門である理科Ⅲ類合格者7名。さらに、その理Ⅲの首席合格者を輩出するという、驚異的な実績を残しています。（学研塾ホールディングス、高等進学塾）



教育ソリューション

学研教育みらい×世界文化社×フレーベル館
で保育教材の協業をスタート

幼児教育部門において上記3社による試験的な協業を開始しました。同業他社との異例とも言える取組の主な内容は、①物流の共同配送、②商品の共同仕入れおよび開発・制作です。有力3社を合わせたスケールメリットにより、物流費の高騰や少子化傾向を背景としたコスト上昇の抑制と、事業の新たな可能性を開拓してまいります。

高等専門学校生向け新卒採用企画が好調！

学研教育みらい社会教育部門では、高専生向け就職情報誌「学研就活研究」と新卒向けセミナー事業に力を入れ、売上を伸ばしています。セミナー事業は全国7都市・13会場にて開催。学校、企業の双方から高い評価を得ていると同時に、就職指導に活用されています。



教育コンテンツ

「ムー」が日本ブランド・ライセンス大賞
グランプリ受賞

「創刊40周年を迎えた、歴史のあるマガジブランドで、長年ぶれないコンセプトとスタンスがファンから高い人気を獲得。ムーの世界観を活かした商品化も秀逸で、ライセンスビジネスの大きな可能性を秘めている」ことが評価され、日本キャラクター大賞内の部門賞グランプリを受賞しました。（学研プラス）

最新刊『美しい日本語選び辞典』が
半年で6万部突破！

発売以来、SNSで大きな話題となっています。本の内容はもちろん、読者の心を的確にとらえた「まえがき」や「帯」、ツイートの文言はユーザーから絶賛され、半年で4回増刷、発行部数は6万7,000部を突破しました。（学研プラス）



学研の図鑑『キン肉マン「超人」』

今年40周年を迎えた「キン肉マン」と来年50周年を迎える「学研の図鑑」が究極のタッグを結成。フルカラーで超人約700体を網羅し、生物として分類！誰も見たことのない超人図鑑を発売しました。予約だけでamazonの書籍総合ランキングで10日間1位！（学研プラス）



ゆでたまご先生描下ろしのカバーイラスト（限定）

ココファングループ

学研こども園が
開園10周年

2008年に設立した養護と教育を両輪とした子育て支援の総合事業会社の学研ココファン・ナーサリー。その第1号園である「学研こども園」が開園10周年を迎え、これを記念して、学研ビルで記念フェスを開催しました。（学研ココファン・ナーサリー）



学研グループ各社と連携、保護者・職員も一体となって楽しんだ。

KODOMOTTO発売開始

パナソニックホームズとの共同開発で生まれた、家族がいっしょに育つ家「KODOMOTTO（こどもっと）」が2018年10月27日から発売開始。学研のコンセプトと教育ノウハウを、パナソニックホームズが具現化した子育て家族向けの住宅です。（学研ホールディングス）



育ちのチカラグランプリ開催

学研ココファン・ナーサリーは、絵本を保育に展開する取組事例を発表・表彰する初めての試み「第1回育ちのチカラグランプリ」を開催しました。（学研ココファン・ナーサリー）



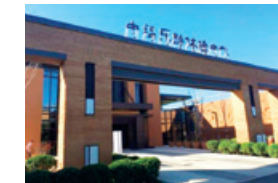
メディカル・ケア・サービス (MCS)

認知機能に関する
共同研究契約を締結

島津製作所、ERISA、島根大学と「認知機能に関する共同研究」の契約を締結しました。本研究では、軽度認知障害 (MCI) の方に、認知機能改善を目的としたプログラムを実施。認知機能への改善に関する評価方法を開発します。（メディカル・ケア・サービス）



中国天津市に認知症専門施設をオープン



中国における認知症ケアの需要の高まりを受け、天津市に14床の認知症専門施設「MCS 中福中新生態城認知症センター」をオープンしました。

当社がこれまで日本で培ってきた実績を活かし、「自立支援」を重視した個別ケアを提供しています。（メディカル・ケア・サービス）

MCSとのシナジープロジェクト始動

2018年9月に学研にグループインしたメディカル・ケア・サービスと学研ココファンは、学研グループの高齢者福祉事業者としてグループシナジーを創出し更なる社会貢献を行うべく両者のシナジー創出プロジェクトを開始しました。（学研ココファン、メディカル・ケア・サービス）



「SDGs」取り組みます宣言

- SDGsとは世界共通の解決すべき課題
- 学研グループは目標3、4、11を重点目標として、グループ全体で取り組む
- そして、重点目標を起点にすべての目標の解決を目指す



「SDGs(エスディージーズ)」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットにおいて、全会一致で採択された国際社会共通の目標です。

グループ全体で取り組む課題

このサミットでは、2015年から2030年までの長期的な開発の指針として、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。この文書の中核を成す「持続可能な開発目標」をSDGsと呼んでいます。

地球規模の困難な課題に対して、国際社会が力を合わせて解決を目指すことになったのです。

私たちはこれらの課題を真剣に受け止め、学研グループ全体で取り組んでいくべきものと考えています。



SDGsホームページ

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>



学研のDNAは教育で社会問題の解決を図ること

学研グループは、1946年に故・古岡秀人が「戦後の復興は教育をおいてほかにない」という信念のもと創業した学習研究社を核としています。当時の日本では、SDGsに挙げられているような課題が山積していました。

教育で社会問題の解決を図ることは、学研グループのDNAなのです。

私たちは17あるSDGsの目標に対して、3、4、11の3つを重点目標に設定しました。

このことは、環境やジェンダーなどの目標をおろそかにすることではありません。

SDGsには、学研グループでは直接的に関与できない目標もあります。しかし、学研には教育や福祉の強みがあります。これまで続けてきたように、現実にある課題に対して、教育や福祉を手段としてどうしたら解決できるかを考え、実行していきます。

経験を積んでやれることが広がっていけば、重点目標は今よりも増えていくことでしょう。そして、創業100年となる2046年には、もうSDGsのすべての目標を解決できる会社になりたいと考えます。

教育・医療福祉の2つの成長エンジン

創業74期目にあたる当期は、中期経営計画「Gakken2020」を定め、教育分野・医療福祉分野の「2つの成長エンジン」で次代を拓くことを経営方針としています。

2020年は、東京オリンピック・パラリンピックの開催とともに、大学入試制度改革や小学校の新学習指導要領が開始されます。医療福祉分野では、医療報酬の改定も行われます。このような外部環境の大きな変化に対して、学研グループの重要課題であるマテリアリティ(下表参照)を特定し、中・長期目標を定めて取り組んでいきます。

※1 EdTechとは、「教育」と「技術」の英語の頭文字を組み合わせた造語です。

※2 STEAM教育とは、「科学」「技術」「工学」「芸術」「数学」の英語の頭文字を組み合わせた造語です。

人生100年時代を見据えて

EdTech(※1)やSTEAM教育(※2)をはじめとした新たな教育手段によって、未来に続く価値を生み出せる次世代人材を育成することはもちろん、挨拶や困った人に手を差し伸べることができるよう人間性ゆたかな教育の重要性も認識し、各種の教育現場で実践していきます。

また、人生100年時代を見据え、リカレント教育、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる社会(学研版地域包括ケアシステム)の実現を目指していきます。

学研グループのSDGs 重点目標



学研グループの5つの重要課題

マテリアリティとは

自社に関わる「重要課題」のことであり、企業活動による社会課題への影響度合いを評価し、優先順位をつけ「企業としてそれぞれの課題をどの程度重要と認識しているか」を分かりやすく示すものです。

マテリアリティ

未来に続く価値を生み出せる次世代人材の育成	EdTechによる教育サービス、STEAM教育、モンテッソーリ教育、グローバル人材の育成、女性活躍推進など
青少年の健やかな成長の支援	自立した人間に成長するために必要な「生きる力」(体育、道徳、多様性の尊重、コミュニケーション力など)の育成に教育サービスを通じて貢献すること
人生100年時代の生涯学習推進	持続的な塾サービスの提供、リカレント教育、産学連携、女性の社会進出など
心豊かなシニアライフ支援	街づくり、学研版地域包括ケアシステムの実現など
コーポレートガバナンスの強化	コーポレートガバナンス・コードの遵守、コンプライアンスの徹底、情報セキュリティの強化など

論点や学研グループの事業との関係